

◆平成23年度 全国高等学校総合体育大会

第56回 全国高等学校弓道大会

8月4日(木)～7日(日) 岩手県営武道館(盛岡市)

参加者 個人 男女各 96名  
団体 男女各 48校

4日 個人予選

女子 弥富 志笑(高田商業) 予選通過  
森 奈都美(榛生昇陽) 予選敗退  
男子 森下 弘大(郡山) 予選敗退  
横井 稔(平城) 予選敗退

個人戦準決勝

女子 弥富 志笑(高田商業) 4射2中 敗退

5日 団体予選

女子 五條(中町・中西・古城・中村・西久保・宮尾)  
20射 7中 予選敗退  
男子 高田商業(前川・田中・栗村・本川・林田・  
福岡) 20射14中 予選通過

6日 男子決勝トーナメント1回戦

松阪工業16中 — 高田商業15中

本大会では、奈良県勢の入賞は残念ながらありませんでした。(高体連 高塚)

■第3回伝達講習会報告

7月24日 橿原公苑弓道場

参加者 高校生29名 教員10名 計39名

主任講師 西浦範光指導部長

講師 山本元祥教士、平木一史・岡本薫子錬士

近畿地区指導者講習会の受講者が講師をつとめ、学校弓道指導者(リーダー・キャプテンを含む)の射技体配の向上及び部員に対する指導力の向上を図ることを目的とした講習会が行われた。

開会に当たり西浦主任講師は「なぜ体配の練習をするのか。入場から退場まで隙を作らない練習をすることが自分を鍛えることになる。単に的中するだけの弓ではなく、武道としての弓道を学んでいただきたい。」と語られた。

講習内容は顧問による介添え練習、参加者全員の一手行射の後、主任講師から注意すべき点について説明があり、執弓の姿勢、入退場の練習、失の処理、射技指導を含む審査の間合いでの練習等が行われた。講習会では生徒と顧問が共に熱心に弓を引く姿、弓は引かないが指導の内容に身を乗り出して聞き入る顧問の姿が見られた。(指導部 平木一史)



No. 26

盛岡での北東北高校総体、弓道大会に全弓連鈴木会長の代行として出向してきました。大震災の影響もあり、開催に至るまでの、関係者の努力は、並大抵のものではなかったようです。

おかげさまで、高校生のはつらつとした射に接することが出来ました。

印象に残ったこととしては、2年前に、橿原でのインターハイの講評で良かったこととお話した、入場から矢番え動作まで、揃っているチームが多くなったことでした。良いことが広がっていくことはうれしく思いました。

また、試合では男子準決勝戦、栃木足利工大附属高校と岩手県福岡高校との試合が印象的でした。双方最初の一手皆中、栃木の太前が三本目を外すも、残りの四人は的中、一方岩手は全員三本目的中、14対15中で最後4本目に勝負がかかってきました。結局岩手が1本を外しただけで、19中対16中で岩手福岡高校が勝ちました。決勝でも同県の福岡工業に18中対13中で勝利し、優勝しました。同県同士の決勝も聞いたことがありませんでした。

息詰まる、的中の連続、久々に興奮を覚えるの観戦でした。

奈良県弓道連盟 会長 吉本清信

7月の審査から

(審査部: 土谷)

7月8日、雨の中、第224回地連審査を橿原公苑弓道場にて実施しました。

合格者は、2級9名、1級27名、初段32名、二段8名、参段1名、四段は青木 翼さん(郡山支部)が合格されました。審査後の審査員からは、

- ・ 大きい離れをめざしているが、妻手のみが多い。弓手もともに大きく。
- ・ 全体的に会の深さが足りない。
- ・ 妻手をきっちり収め、ほう付けを口割り付近になるよう努力を。

### ■全日本選手権近畿予選会

7月17日、全日本の近畿予選会が橿原公園弓道場で行われました。隣の体育館から剣道の掛け声が響く中、弓道場はシーンとした静けさで弦音と的中の音…蟬の声だけが響いていました。5月22日の予選からあつという間の2ヶ月でした。初めての近畿予選、初めて引く竹矢、初めて経験する雰囲気…引きなれている道場ですが何時もと違う緊張感を体験し心臓バクバク…胃の辺りが気持ち悪くなるぐらいに緊張しました。予選は一手2回。第3控えに座って射場に入るまでずっと“自分のすべきこと”を繰り返し、繰り返し自分に言い聞かせていざ入場!!

予選1回目“う～ん…何かやり忘れてたような…”予選2回目“うう～出来なかったあ”×○××予選終了。自分で“よし!”と思える射が出来ず、モヤモヤ感だけが残りました。

予選を通過された方の射を見て自分に足りていない物が色々あるなあ。



と、感じました。この試合を経験出来たことを大変感謝いたします。そして、この経験をこれからの自分にプラスになるよう…練習に励みたいと思います。最後に、猛暑の中試合の運営・お手伝いして頂いた皆様、応援して下さいました。

(橿原支部： 東中)

### ■ 的貼りの報告とお礼

(総務部 設備担当 前角)

県体の閉会式で参加者の皆さまにお願いした的貼りを7・11に行いました。

17・18日に連盟行事があった為、急なお願いをしたのですが当日は数支部より15名の参加を頂き3時間程で約30個の的を貼ることが出来ました。

当日は暑い中だったのですが慣れた方が指示を出して頂き、不慣れな方もその指示を聞きテキパキと進めていただきました。



お忙しい中お手伝いいただき本当にありがとうございました。

### □ 第23回奈良市弓道近的選手権大会 兼 第2回会長杯争奪戦

8月7日猛暑の中、奈良市弓道場において、首題の大会が開催されました。開会式では、新司会長が左右均等に、真ん中から割れる、大きな離れを心がけてくださいと挨拶され、昨年の会長杯獲得の一瀬、加藤両選手より、会長杯の返還がありました。今年は高校生、大学生の参加も多く総勢91名が上位をめざし、奮闘されました。

今年度、会長杯女子の部に輝いた東 咲子さんは奈良高校2年生。無段の部1位で、称号者の部1位の深田副会長との射詰競射の末、みごと勝ち取られました。結果は次のとおりです。



#### ☆級位の部

- 1位 東 咲子 (奈良高)
- 2位 城之木 千晴 (西ノ京高)
- 3位 河瀬 裕美 (奈良高)

#### ☆初～三段の部

- 1位 梶木 廣平 (帝塚山大)
- 2位 河野 匠 (帝塚山大)
- 3位 太田 和宏 (市協会)

#### ☆参～五段の部

- 1位 丹羽 秀聡 (市協会)
- 2位 古屋 雄大 (帝塚山大)
- 3位 山口 亮二 (市協会)

#### ☆称号者の部

- 1位 深田 紀美子 (市協会)
- 2位 明瀬 憲正 (市協会)
- 3位 中嶋 義久 (市協会)

☆射道優秀賞(級位の部) 東 咲子 (奈良高)

☆会長杯男子の部 丹羽 秀聡 (市協会)

☆会長杯女子の部 東 咲子 (奈良高)

(報告 松村 由喜子)